実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
上山市	山元地区(境、沼田、入丸森、中ノ森、前丸森、内山、須刈田、狸森、元屋敷、菅、黒森)	平成27年2月20日	令和3年3月26日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	31.0ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	25.9ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	14.7ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	13.4ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	1.2ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.3ha
<ul style="list-style-type: none"> ・米とたばこの複合経営のほか、そばの栽培も行われている。 ・国の交付金を活用し、中山間地での農地管理の取組を実施している。 ・高齢化に伴う経営面積の縮小や、離農による不作付地が増加している。 ・山間地に農地が点在しており、集約が難しい。 ・後継者が非常に少ない。 ・有害鳥獣被害(イノシシ、熊等)が増加している。 	

2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"> ・農地が点在し集約が難しい状況で、どのように集約を図っていくか。 ・後継者が少なく、地区外から新規就農者を呼び込むのも難しい状況で、どのように担い手を確保・育成していくか。 ・有害鳥獣被害に対して、どのような対策を講じていくか。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地集約化に関する方針(必要な取組に関する方針)

<p>(1)農地の活用・集約化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地での農地管理の取組を実施しながら、担い手に少しずつ農地集約を進めていく。 <p>(2)担い手の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用組合やそば組合が中心となって農作業の集団化を進め、地域全体での協力体制を構築し、現在の担い手ができる限り農業経営を継続していく。 ・後継者は少ないものの、地域・行政・JA等が連携しながら、若い担い手を支援・育成していく。 <p>(3)有害鳥獣被害対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域・行政・関係団体が連携しながら、捕獲を中心に防除や環境整備など地域ぐるみの取組を進めていく。
--